電子・電気科 電子工学コース	2023年月	度 日本工芸	学院八王-	子専門学校	 交							
対象 2年次 開講期 後期 区分 適2 種別 来留 時間数 120 単位 4 接換 在 職権 操作機 操作機 接換 在 職権 操作機 接換 を 接換 を を 接換 を を 接換 を を を 接換 を を を を を を を を を	電子・電	意気科 電子	工学コー	ース								
担当教員 辻村参索・小林和平・野崎里夫 実務 経験 有 職種 政村権 (集納保証) 担当教員 辻村参索・小林和平・野崎里夫 実務 経験 有 職種 政村権 (集納保証) 到達目標 個々の学生が目標を決め、作品を製作に取り組む。全画力、設計力、製作力、評価、プレビン力など総合的にパランスの取れた技術者に必要な知識や経験を身につけることを目標とする。 投業方法 個人の企画力、プレゼン能力など総合力を製作を通じ身につける。個人製作が中心となり課題解決を通じ、実践的な能力を磨く。 レボート:40%浸煮内容の理解度を確認するために実施する。成果発表:40%梗業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点:20%積極的な投業参加度、授業態度によって評価する。 履修上の注意 実習に取り組むを要・環構性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない連列や欠期は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 フリント配布 回数 検索計画 企画(2) 第2回	卒業製作	F										
担当教員	対象	2年次	開講期	後期	区分	選2	種別	実習	時間数	120	単位	4
ものづくりを通じ、2年間で習得した技術を集大成します。 到達目標 個々の学生が目標を決め、作品を製作に取り組む。企画力、設計力、製作力、評価、プレゼン力など総合的にバランスの取れた技術者に必要な知識や総験を身につけることを目標とする。 授業方法 個人の企画力、プレゼン能力など総合力を製作を通じ身につける。個人製作が中心となり課題解決を通じ、実践的な能力を解く。 成績評価方法 レポート:40%授業内容の建解度を確認するために実施する。成果発表:40%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点:20%保運的な授業参加度、授業態度によって評価する。 原修上の注意 実常に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の概点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応すること。 変料書数材 プリント配布 「同数 授業計画 企画(1) 第1回 企画(2)		辻村彰宏・小林	和幸・野﨑里	美	実務 経験	有	職種	設計職(無線機器)			ı
到連目標 個々の学生が目標を決め、作品を製作に取り組む。企画力、設計力、製作力、評価、プレゼン力など総合的にバランスの取れた技術者に必要な知識や経験を身につけることを目標とする。 授業力法 個人の企画力、プレゼン能力など総合力を製作を通じ身につける。個人製作が中心となり課題解決を通じ、実践的な能力を磨く。 成績評価方法 レポート:40%授業内容の理解度を確認するために実施する。成果業表:40%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点:20%授権的な授業参加度、授業態度によって評価する。 平常点:20%授権的な授業参加度、授業態度によって評価する。 東晋に取り組む姿勢・循極性を重視する。キャリア形成の製点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。建由のない遅刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 プリント配布 「回教 検業計画 企画(1) 第1回 企画(2)	授業概要											
個々の学生が目標を決め、作品を製作に取り組む。企画力、設計力、製作力、評価、ブレゼン力など総合的にバランスの取れた技術者に必要な知識や経験を身につけることを目標とする。 授業方法 個人の企画力、プレゼン能力など総合力を製作を通じ身につける。個人製作が中心となり課題解決を通じ、実践的な能力を磨く。 成練評価方法 レポート: 40%授業内容の理解度を確認するために実施する。成果発表: 40%授業時間内に行われる発表力法、内容について評価する。 平常点: 20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 服修上の注意 実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく 対応すること。 数科書教材 プリント配布 回数 佐薬計画 企画(1) 第1回 企画(2)		7を通じ、2千	时 C 目1寸 C	/ / C 1 X [Y] で オ	N ルしよ	. 9 o						
及業方法 個人の企画力、プレゼン能力など総合力を製作を通じ身につける。個人製作が中心となり課題解決を通じ、実践的な能力を磨く。 成績評価方法 レボート: 40%授業内容の理解度を確認するために実施する。成果発表: 40%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点: 20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 履修上の注意 実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 数科書数材 プリント配布 回数 授業計画 企画(1) 第1回 企画(2)	到達目標											
個人の企画力、プレゼン能力など総合力を製作を通じ身につける。個人製作が中心となり課題解決を通じ、実践的な能力を磨く。 成績評価方法 レボート:40%授業内容の理解度を確認するために実施する。成果発表:40%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点:20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 履修上の注意 実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない理刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 プリント配布 回数 授業計画 企画(1) 第1回 企画(2)	個々の学生スの取れた	Ėが目標を決々 た技術者に必要	か、作品を特定な知識や対	製作に取り 経験を身に	組む。企i つけるこ。	画力、設 とを目標	計力、製とする。	! 作力、評	価、プレセ	ジカなと	ど総合的に	こバラン
成績評価方法 レポート: 40%授業内容の理解度を確認するために実施する。成果発表: 40%授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点: 20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 履修上の注意 実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の 4 分の 3 以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 ブリント配布 回数 授業計画 金画(1) 第1回 企画(2)	授業方法											
レポート: 40%接業内容の理解度を確認するために実施する。成果発表: 40%接業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。 平常点: 20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。	個人の企画能力を磨く	画力、プレゼン く。	/能力など	総合力を製	作を通じ	身につけ	る。個人	製作が中	心となり調	見解決 を	を通じ、実	実践的な
について評価する。平常点:20%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 履修上の注意 実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 プリント配布 回数 授業計画 企画(1) 第1回 企画(2)	成績評価力	方法										
実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 プリント配布 回数 授業計画 第1回 企画(1) 第2回 企画(2)	レポート: について記	: 40%授業内容 平価する。平常	Fの理解度 常点:20%	を確認する積極的な授	ために実施業参加度、	施する。 授業態	成果発表 度によっ	: 40%授 て評価す	業時間内に る。	行われる	5発表方法	云、内容
実習に取り組む姿勢・積極性を重視する。キャリア形成の観点から、実習中の私語や受講態度などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。なお、所定の時間の4分の3以上出席しない者は評価ができないので注意すること。 教科書教材 プリント配布 回数 授業計画 第1回 企画(1) 第2回 企画(2)												
教科書教材 プリント配布 回数 授業計画 企画(1) 第1回 企画(2)	履修上の治	<u></u> 注意										
プリント配布 回数 授業計画 第1回 企画(1) 第2回 企画(2)	実習に取り対応する。注意するこ)組む姿勢・和 理由のない過 こと。	責極性を重 遅刻や欠席。	視する。キ は認めない	ャリア形成のなお、原	成の観点 所定の時	から、実 間の 4 分	習中の私 ◇の3以上	語や受講態 出席しない	護度などり 者は評価	こついてに 面ができた	は厳しく よいので
回数 授業計画 企画(1) 企画(2) 第2回 企画(2)	教科書教	 材										
第1回 企画(1) 企画(2) 第2回	プリント酉	己布										
第1回 企画(2) 第2回	回数											
第1回 企画(2) 第2回		企画	(1)									
第2回	第1回											
个画(3)	第2回		(2)									
		- 企画	(3)									

第3回

2023年度	日本工学院八王子専門学校						
電子・電気科 電子工学コース							
卒業製作							
第4回	企画発表						
第5回	設計(1)						
第6回	設計(2)						
第7回	設計(3)						
第8回	設計(4)						
第9回	基板設計(CAD)(1)						
第10回	基板設計(CAD)(2)						
第11回	基板設計(CAD)(3)						
第12回	基板設計(CAD)(4)						
第13回	回路製作(1)						
第14回	回路製作(2)						
第15回	回路製作(3)						